

公益信託しまね文化ファンド 2020年度 前期決定事業一覧

■地域文化振興(2件)

単位:千円

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
1	平田ゆかりの偉人「 <small>アノモリ セイ オウ</small> 雨森精翁」の顕彰事業	雨森精翁研究啓発活動プロジェクトチーム	出雲市	4～3月	100	平田地域の教育に多大な功績を残した儒学者・雨森精翁の人物像やその業績を多くの人に知ってもらおうと、紙芝居を作成し上演活動を行う。今回は入門編的な内容に絞り、これまでの活動成果を生かしてデザイン・台本全てでチームで手がける。身近な存在でありながら知る機会の無い郷土の偉人の顕彰を目的とする。
2	<small>ノウミ ユウカ</small> 能海寛研究会25周年記念事業	<small>ノウミ ユウカ</small> 能海寛研究会	浜田市	7月	400	能海寛に関する25年間の研究活動の集大成として会員から新たに論文を募集し、『25周年記念論集』を発行する。また、記念講演と「能海寛に学ぶ『これからの町づくり、人づくり』」というテーマでパネルディスカッションを行う。能海寛の現代にも通じる精神を市民とともに紐解き、若い世代にも伝えていく。
			小計	2件	500	

■芸術文化振興(25件)

単位:千円

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
3	第15回 <small>イノサキ ユウツツ</small> 稲佐の浜夕刻篝火舞	大土地神楽保存会神楽方	出雲市	5月	350	出雲神話の舞台であり神迎えの浜としても知られる稲佐の浜に舞座を設置し、夕日と篝火の幻想的な雰囲気の中で、神楽舞や和太鼓の演奏を行う。大土地神楽をはじめとする出雲神楽と石見神楽それぞれの囃子や衣装の特色・違いを際立たせ、神楽の地域性や歴史を発信する。
4	<県民文化祭共催事業> 出雲歌舞伎公演 むらくも座2020 ～元気な担い手育成事業～	島根県地歌舞伎連合会	出雲市	9～11月	3,300	出雲地方に伝承されながらも戦後過疎化により一時上演が途絶えた演目を、約43年間にわたり復元してきた。その貴重な演目を次世代に継承するため、子どもと若手を積極的に登用し地歌舞伎公演を行う。練習を通して礼儀や所作を伝えるほか、事業運営を担う若手スタッフの育成も目指す。
5	<県民文化祭共催事業> 島根県邦舞連盟20周年記念舞踊公演	島根県邦舞連盟	松江市	9月	4,700	県内で活動する日本舞踊7流派が一堂に会し、各流派の特徴を生かして長唄や常磐津など様々な古典舞踊を発表する。「えにしをまいつなぐ」というテーマで子どもたちの出演を増やし、観客含め若い世代に伝統芸能の深みとおもしろさを伝えることを目指す。
6	<県民文化祭共催事業> 島根県三曲連盟創立記念 東西交流 箏・尺八演奏会—2020—	島根県三曲連盟	松江市	9月	300	県内各地で活動する加盟団体が集まり、三曲(箏・三弦・尺八)の魅力を発信しようと連盟初の合同演奏会を開催する。古典から現代曲まで幅広い分野の曲を、団体単独や合奏など演奏形態を変えて披露する。会派や流派の壁を越えて、次世代に邦楽文化を伝えようと取り組む。
7	<県民文化祭共催事業> プリマヴェーラ16	島根県洋舞連盟	松江市	12月	3,500	県内の舞踊文化の活性化を目指し、クラシックバレエとジャズダンスの団体を中心となり、毎年オリジナル作品を県内の人材で上演している。平成25年からは和の分野とのコラボレーションを試み、今回も和太鼓奏者や日本舞踊家と共に新しい作品に挑戦する。
8	I AM I THE SHOW vol.3	<small>アイ アイ アイ</small> I AM I 実行委員会	出雲市	4月	300	ダンスが国籍・年齢にかかわらず楽しめることやその多様性を知ってもらおうと、山陰各地のダンスチームによるステージ事業を行う。伝統芸能とのコラボレーションも披露し、ダンスの可能性や新たな魅力を発信する。来場者にもダンスの簡単な振りを体験してもらう時間を作る。

公益信託しまね文化ファンド 2020年度 前期決定事業一覧

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成決定額	事業概要
9	創作演劇「猫ガナク。」「七輪の侍」	市民演劇集団『ドリームカンパニー』	益田市	5月	250	浜田・益田・津和野在住の社会人で構成する団体で、地方都市でも演劇鑑賞ができる環境を作ろうと活動している。第15回記念として団体オリジナルの新作2演目を、同日昼・夜で上演する。主演に若手を起用し、客演を迎えた多彩な顔ぶれで、演出や表現にこだわり取り組む。
10	【参加者公募事業】 ミュージカル「あいと地球と競売人」	「あいと地球と競売人」自主企画 実行委員会	松江市	9月	3,800	地球環境の保護を訴えるミュージカルに平成30年から取り組んでいる。子どもから大人まで約130人の出演者を広く募り、5カ月にわたる制作期間を経て3日間で6公演行う。舞台を通してミュージカルへの関心を高めるとともに、地球環境の大切さを伝える。
11	【参加者公募事業】 オペラ「愛の妙薬」	隠岐島音楽祭実行委員会	隠岐の島町	11月	1,150	隠岐の島の住民が中心となり、オペラ「愛の妙薬」を上演する。合唱・舞台出演者はじめ運営に携わるスタッフを島内で募り、プロの音楽家や演出家から指導と助言を受ける。住民が舞台芸術に参加・協力する機会を創出し、隠岐における文化活動の活性化を図る。
12	女声合唱団 フィオーリ 結成35周年記念定期演奏会	女声合唱団 フィオーリ	松江市	7月	600	全国の多くの合唱団体に愛唱されている信長貴富氏の作品によるプログラム構成で記念演奏会を開催する。本格的な合唱曲に加え、童謡やJ-POPなど様々なジャンルの曲を発表する。また、全国から合同合唱の参加者を募り、ジョイントステージを披露する。
13	出雲フラウエンコール 結成40周年記念コンサート	女声合唱団 出雲フラウエンコール	出雲市	10月	300	40年の活動成果を生かし、団員全員が出演して合唱曲のほかオペレッタ人形劇や、地元音楽家による出雲を題材にした作品を披露する。来場者も一緒に歌える時間も作り、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめるコンサートを目指す。
14	第24回 雲南合唱フェスティバルin 木次	雲南合唱連盟	雲南市	6月	100	雲南市・奥出雲町・飯南町の合唱団体が連盟を構成しており、10団体が一堂に会して日頃の活動成果を市民に発表する。今回は、東京五輪・パラリンピックに因み、「曲の聖火リレー」で開会し、世界の名曲などを披露する。
15	0歳からのコンサート ～こどものがたりコンサート～	出雲音楽友協会	出雲市	8月	150	小さな子どもたちに本物の音楽が聴ける場を提供し、豊かな感性を養ってもらいたいと開催する。1部では楽器の紹介を兼ねた演奏を、2部では絵本の作品をとりあげ、映像と語りと生演奏で発表する。コンサート後には楽器に触れ、実際に音出しができる体験コーナーを行う。
16	第10回 DNAフィルハーモニック演奏会	DNAフィルハーモニック	出雲市	6月	500	医療関係者を中心に構成されたオーケストラで、出雲を拠点に活動している。10回記念として、出雲市出身で現在ロシアに留学中のピアニストをソリストに迎え、ラフマニノフのピアノ協奏曲のほか、ロシアの作曲家の作品を演奏する。病院内でも案内し、療養中の方にも来場いただけるよう工夫する。
17	第9回 ふれあいコンサートin益田	益田地区防衛協力会	益田市	5月	350	市内の中学生と自衛隊音楽隊との合同演奏会を開催する。演奏会前日には音楽隊によるパート別の指導会が行われる。コンサートでは受講成果を生かして各学校が単独演奏を披露し、最後に音楽隊と参加生徒全体での合同演奏を発表する。
18	夏フェス in KOSOSHI	夏フェス in KOSOSHI 実行委員会	松江市	8月	200	ライブハウスでの活動が難しいバンドに発表の場を提供し、バンド文化の活性化につなげたいと松江市古曾志町にある野外ステージで音楽フェスティバルを開催する。出演団体は山陰両県で活動する個人・団体とし、ジャンルも不問とする。古曾志地区の協力を得て地域一体となったフェスティバルを目指す。

公益信託しまね文化ファンド 2020年度 前期決定事業一覧

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
19	熱響UNNAN+ (プラス) みんなでかな でるハーモニー～山形氏を迎えて～	みんなでかなでるハーモニー in 雲南 実行委員会	雲南市	9・10月	1,050	地域住民はじめ、障がい者や病と闘う方など誰にでも気軽にクラシック音楽を楽しんでもらおうと開催しており、今回はフルート奏者の山形由美氏を講師に迎え、ワークショップや共演を含めたコンサートを行う。音楽療法士や福祉関係者、演奏家が一緒になり、隔てなく音楽を楽しめる環境づくりを目指す。
20	スサノオの郷のオーケストラ (スサノオの旋律「第1楽章」: 集まれアーティスト)	スサノオの郷のオーケストラ実行 委員会	出雲市	9月	1,000	令和の時代に相応しい新たな文化創造を目指し、出雲市佐田地域で培われてきた文化芸術活動を一堂に集め、展示や舞台、映像など様々なスタイルで発表する。地域住民とUターン者の若い世代が中心となり、近隣地域とも連携して企画運営を行う。オーケストラになぞらえ、今回を「第1楽章」と銘打って実施する。
21	<県民文化祭共催事業> 第12回 出雲神在月市民芸術文化 の祭典	出雲市文化団体連合会	出雲市	10月	700	出雲市各地域に伝わる伝統芸能や古典、音楽や創作芸能など新旧様々な活動を行う子供から大人までの約10団体が集まり、日ごろの成果を市民に披露する。多彩な文化活動が行われていることを周知し、市民との連携やネットワーク作りの場とする。
22	<県民文化祭共催事業> 2020年文化を育む in ますだ	益田市文化協会	益田市	10～3月	1,300	文化協会加盟団体が舞台と展示の方式で日ごろの活動成果を広く市民に発表する総合文化祭として隔年で実施している。これまで作品発表スタイルを中心に展開してきたが、市民との交流拡大を目指し、参加体験型のコーナーを増やす。
23	相見香雨没後50年記念シンポジウ ム	桑原羊次郎・相見香雨研究会	松江市	6～7月	150	松江市出身の美術史家・相見香雨の没後50年を記念し、その業績の顕彰と基盤となった地域文化に関する調査研究成果を多くの市民に知ってもらうため、シンポジウムと関連資料や写真パネルの展示を行う。最後に報告書を作成、広く配布することで今後の研究発展と周知を目指す。
24	布のつながり パッチワークキルトフレンド展	布のつながり パッチワークキルト フレンド展実行委員会	松江市	4月	200	3つのパッチワークキルト教室による初の合同展示会で、タペストリー型のものから吊るし雛など大小様々な作品300点以上を一堂に発表し、針仕事の多様さやその芸術性を見せよう。パッチワークの材料や制作道具も展示し、キルトの歴史や種類なども紹介する。
25	第50回 記念 山陰独立書展	島根県独立書人団	松江市	9月	400	1959年に会を結成し、書道芸術に親んでもらおうと開催している。書展のために会員が制作した力作と一般から公募した作品を同時に展示する。漢字から現代文体まで変化に富んだ作品が並ぶ中、会員がギャラリートークや書の実演を行い、誰もが楽しめる書展を目指す。
26	<県民文化祭共催事業> 第14回 しまね写真展	島根県写真家連盟	松江市	5月	300	島根県民および島根に関心がある人を対象にした写真展で、多くの人に気軽に楽しんでもらおうと県東西の2カ所で開催を行う。昨年に続き、高校写真展も併設する。作品数は約150点を見込んでおり、連盟会員による公開審査会と講評会を実施し、出品者へのアドバイスも行う。
27	<県民文化祭共催事業> 第29回 しまね映画祭 (しまね映画塾 2020)	しまね映画祭実行委員会	江津市	6～11月	3,250	一般公募で集まった参加者たちが8～10名の撮影グループに分かれ、塾長である錦織良成氏のアドバイスを受けながら短編映画を完成させる映画制作のワークショップ事業で、今回、江津市での初開催となる。地域と一体となり、その土地の魅力を生かした島根ならではの映像文化を発信する。

小計 25件 28,200

2020年度前期 採択事業 合計 27件 28,700

単位:千円